

E-Mail : nfduj@zenkoku-kowan.jp

全国港湾

NATIONAL FEDERATION OF DOCKWORKERS UNIONS OF JAPAN (ZENKOKU-KOWAN)

(発行所)
全国港湾労働組合連合会
〒144-0052 東京都大田区蒲田5-10-2
日港福会館1F
電話：03-3733-2561
FAX：03-3733-2627
発行人：玉田雅也
定価：30円(組合費を含む)

(毎月1回15日発行・平成7年8月18日)
第三種郵便物認可
2024年2月15日 第371号

24港湾春闘

たたかう運動方針確立！

全国港湾は、2月6日(火)午後から7日(水)午前にかけて16回中央委員会を豊橋市「シーパレス」において開催した。

委員会は、議長団に、佐竹義昭中央委員(大港労組)、石渡周二中央委員(検数労連)を選出、23秋年末闘争の主な取り組み経過について案(第1号議案)、24春闘方針案(第2号議案)及び24春闘要求書案(第3号議案)を審議し、原案の一部修正のうえ満場一致で採択した。

中央委員会は、新型コロナウイルス感染症の感染対策として、中央執行委員、本部役員及び単組・地区港湾選出中央委員とその同数のオブザーバーの参加を可能として調整し、総数141名が参加した。

委員会開催に先立ち開会挨拶に立った鈴木(誠)副委員長は、能登半島地震でのお見舞いを述べ、24春闘に向けて、本気になってたたかう決意をすることを表明し、議長団を選出、資格審査では、中央委員44名全員が出席しており、中央委員会の成立を確認した。

その後、中央執行委員会を代表して真島中央執行委員長は、大幅賃上げ、労働時間短縮、継続課題の解決へたたかう体制を固めようと呼びかけた。



議長団には、茶畑中委員(日本海・全港湾・七尾支部)が発言に立ち、能登半島地震による仲間の現況や港湾施設の損壊の状況について報告するとともに、全国港湾はじめ、港湾の仲間からの支援に感謝の意を述べ、困難を乗り越えていく力をもらい頑張っていると述べた。これをふまえて、二本柳中央委員(東北港湾)が、東日本大震災の経験から緊急動議として中央委員会の会場で支援カンパを提案し、これを承認した。

その後、玉田書記長が、第1号議案と第2号議案及び一部修正を行った第3号議案を、一括で提案した。

議案の提案を受け、延13名名の中央委員から、基本的に原案を支持・補強する立場から、石炭荷役の課題、特定重要拠点空港・港湾の問題、能登半島地震からの復興の問題、労働条件や労働環境を整備するための課題、指定事業体の解決、週休二日制・年末年始完全休日・月一回の日曜不稼働など質疑は多岐にわたった。

2日目の冒頭には、24春闘たたかうにあたって、各



単組の決意表明が行われ、賃金引上げ要求では、各単組10%(3万円)の要求を掲げてたたかうとした。

その後、真島委員長の総括を受け、中央執行委員会提出議案の採択に入り、提案された議案が満場一致で承認され、24港湾春闘のたたかう運動方針が確立された。

最後は、遠藤副委員長が閉会挨拶を行い、真島中央執行委員長の「団結カンパ」で締めくくった。(関連記事2面・3面)

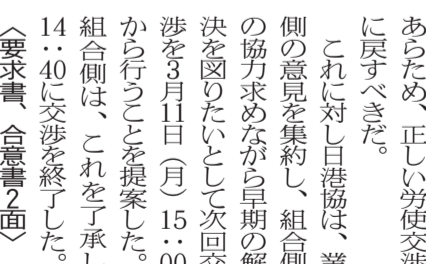


委員長挨拶

能登半島地震の被害にあわれた組合員の方々と家族と関係者の皆様にお見舞いを申し上げます。

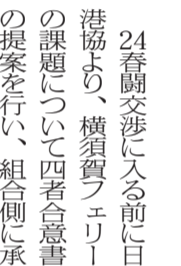
先日、七尾支部の委員長から実情を聞きましてこれから想像した以上の被害だと報告がありました。

出来る限りの支援等々また、この後の提案の中で各単組からのカンパのお願い



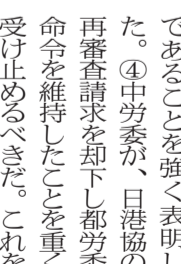
候変動による生活必需品などがとどろき値上げされていく。今春闘全国港湾に結集するすべての組合で一致団結して賃上げを勝ち取っていかねばならないと思っております。

ここ数年、日本の船会社は、空前の利益を上げてきている。空気の利益を上げてき



い、港湾施設の損傷により仕事が出来ないことによる収入不安が心配されるので一刻も早く仕事へ復帰できるように国や業界への要請など、出来るバックアップ体制をとりながら一日も早い復旧・復興を願います。

開会にあたり、取り巻く激動の環境、特に戦争や気



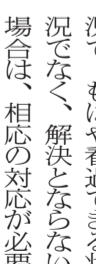
ました。その間私たちは、コロナの感染に脅えながら、あるいは、炎天下や猛吹雪のなか働き続けてきました。そんな私たちに對して労働対価である賃金、割増賃金を含め、もう少し上げるといふ事は当然のことです。

船会社は、今こそ膨大な利益を労働者と事業者に還元すべきと率直に感じて



大幅賃上げ・休日休暇の拡充などを要求！

全国港湾と港運同盟は、2月14日(水)13:30から芝浦サリスセンター会議室(東京港)において24春闘第1回中央港湾団交を開催し、日本港運協会の「2024年度産別労働条件および産別協定の改定に関する要求書」並びに「2024年(令和6年)能登半島地震に係る要求書」を提出、要求趣旨説明を行った。



コロナ禍でも安定しているため港湾での若年労働者や女性労働者が増加していることが紹介されています。

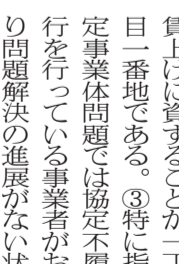
日本の港湾では、まだ厳しい仕事もありますが、誇りをもってできる仕事であり、それに見合う賃上げが必要で

第1回中央港湾団交

24春闘交渉に入る前に日港協力の、横須賀フェリーの課題について四者合意書の提案を行い、組合側に承認を求めた。組合側は、これを了承し、合意することとした。

団交冒頭、開催挨拶で真島委員長は、能登半島地震に係る要求を24春闘要求とともに提出することを訴え、物価高騰、人員不足、厳しい労働環境にあって、人が集まらない。大幅賃上げなくして24春闘は終わらないと強く主張した。

その後、玉田書記長は、今こそ、大幅賃上げと休日休暇の拡充とともに、早急



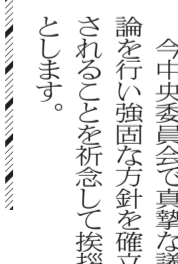
経済安全保証制度分野へのセキュリティ強化、インフラ関連設備等の情報を扱う人について、国が「適正評価」を行う制度だ。対象者本人の酒癖や既住歴、思想傾向、家族や友人まで調べられるのではないかと危惧されている。また、企業の情報管理体制も審査される。これまでの外交や防衛だけでなく、経済活動についても対象となり、対象者の範囲がぐんと広がる。さらに秘密の範囲も広がる。トップシークレット級とシークレット級を漏洩した場合には、特定機密保護法と同等の刑罰が科される。さらに、それよりも機密性が低い情報にも何らかの対応を検討しているという。この制度については通常国会で法案提出・審議されるが、十分な議論が必要ではないかと思う。国家機密を増やし、研究者や市民を国が監視する体制が強まると、法の支配や政府への監視、自由な報道が失われてしまう。人工知能(AI)や次世代型原子炉など最新技術の検証や議論も妨げられる。法整備するにしても、政府の違法行為を秘密指定にしないことや、独立した監視機関の設置、公共の利益に資する公表を罰しないなど、歯止めが必要だ。

大幅賃上げ・休日休暇の拡充などを要求！

認を求めた。組合側は、これを了承し、合意することとした。

団交冒頭、開催挨拶で真島委員長は、能登半島地震に係る要求を24春闘要求とともに提出することを訴え、物価高騰、人員不足、厳しい労働環境にあって、人が集まらない。大幅賃上げなくして24春闘は終わらないと強く主張した。

その後、玉田書記長は、今こそ、大幅賃上げと休日休暇の拡充とともに、早急



また、中労委は日港協再審査請求を却下し組合側の勝利となっていますが、日港協はこれを機に労使交渉に真摯に向き合い、残された多くの課題の前進に向き合うべきと考えます。

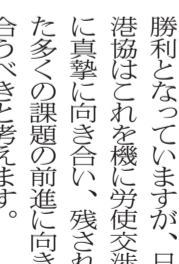
今中央委員会で真摯な議論を行い強固な方針を確立されることを祈念して挨拶とします。

大幅賃上げ・休日休暇の拡充などを要求！

24春闘交渉に入る前に日港協力の、横須賀フェリーの課題について四者合意書の提案を行い、組合側に承認を求めた。組合側は、これを了承し、合意することとした。

団交冒頭、開催挨拶で真島委員長は、能登半島地震に係る要求を24春闘要求とともに提出することを訴え、物価高騰、人員不足、厳しい労働環境にあって、人が集まらない。大幅賃上げなくして24春闘は終わらないと強く主張した。

その後、玉田書記長は、今こそ、大幅賃上げと休日休暇の拡充とともに、早急



また、中労委は日港協再審査請求を却下し組合側の勝利となっていますが、日港協はこれを機に労使交渉に真摯に向き合い、残された多くの課題の前進に向き合うべきと考えます。

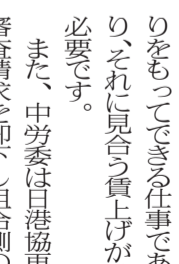
今中央委員会で真摯な議論を行い強固な方針を確立されることを祈念して挨拶とします。

大幅賃上げ・休日休暇の拡充などを要求！

24春闘交渉に入る前に日港協力の、横須賀フェリーの課題について四者合意書の提案を行い、組合側に承認を求めた。組合側は、これを了承し、合意することとした。

団交冒頭、開催挨拶で真島委員長は、能登半島地震に係る要求を24春闘要求とともに提出することを訴え、物価高騰、人員不足、厳しい労働環境にあって、人が集まらない。大幅賃上げなくして24春闘は終わらないと強く主張した。

その後、玉田書記長は、今こそ、大幅賃上げと休日休暇の拡充とともに、早急



また、中労委は日港協再審査請求を却下し組合側の勝利となっていますが、日港協はこれを機に労使交渉に真摯に向き合い、残された多くの課題の前進に向き合うべきと考えます。

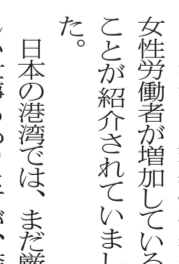
今中央委員会で真摯な議論を行い強固な方針を確立されることを祈念して挨拶とします。

大幅賃上げ・休日休暇の拡充などを要求！

24春闘交渉に入る前に日港協力の、横須賀フェリーの課題について四者合意書の提案を行い、組合側に承認を求めた。組合側は、これを了承し、合意することとした。

団交冒頭、開催挨拶で真島委員長は、能登半島地震に係る要求を24春闘要求とともに提出することを訴え、物価高騰、人員不足、厳しい労働環境にあって、人が集まらない。大幅賃上げなくして24春闘は終わらないと強く主張した。

その後、玉田書記長は、今こそ、大幅賃上げと休日休暇の拡充とともに、早急



また、中労委は日港協再審査請求を却下し組合側の勝利となっていますが、日港協はこれを機に労使交渉に真摯に向き合い、残された多くの課題の前進に向き合うべきと考えます。

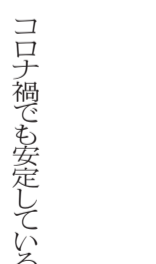
今中央委員会で真摯な議論を行い強固な方針を確立されることを祈念して挨拶とします。

大幅賃上げ・休日休暇の拡充などを要求！

24春闘交渉に入る前に日港協力の、横須賀フェリーの課題について四者合意書の提案を行い、組合側に承認を求めた。組合側は、これを了承し、合意することとした。

団交冒頭、開催挨拶で真島委員長は、能登半島地震に係る要求を24春闘要求とともに提出することを訴え、物価高騰、人員不足、厳しい労働環境にあって、人が集まらない。大幅賃上げなくして24春闘は終わらないと強く主張した。

その後、玉田書記長は、今こそ、大幅賃上げと休日休暇の拡充とともに、早急



また、中労委は日港協再審査請求を却下し組合側の勝利となっていますが、日港協はこれを機に労使交渉に真摯に向き合い、残された多くの課題の前進に向き合うべきと考えます。

今中央委員会で真摯な議論を行い強固な方針を確立されることを祈念して挨拶とします。